

別紙4:モデル仕様書(公開型GIS)

本業務は、地域未来交付金デジタル実装型の優良モデル導入支援型【TYPE1】に当市が採択された事業として実施するものである。
 本業務は、デジタルを活用して地域の課題解決等を図るサービス・システムの導入の展開を進めるため、デジタル庁のモデル仕様書に準拠した実装を行うものとする。

- (1)モデル仕様書(公開型GIS):本業務における要求レベルを下表に示す。
- (2)非機能要件一覧(類型:公開型GIS):全ての要件を満たすこと。

モデル仕様書機能要件においては、本業務における対応を以下2つに分類する。
 ①必須機能:構築するサービスにおいて、サービス開始時点までに対応する要件
 ②今後拡張が望まれる機能:構築するサービスにおいて、サービス開始後に拡張可能とする要件
 各機能への対応を下表に示す。

モデル仕様書・要件定義				モデル仕様書 推奨機能				
項番	機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明	必須機能	今後拡張が望まれる機能	
	大項目	中項目	小項目					
1	基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	利用者、管理者双方のサービス利用環境は、以下のとおりとする。 ・一般的なパソコン等が有する基本的な機能のみで動作が可能であるものとし、利用に際し、事前に特別なアプリケーションやプラグイン等のインストールを必要としないこと。 ・パソコンのOSは、Windows11に対応し、Webブラウザは、Microsoft Edge、Firefox、Safari、Google Chromeを推奨対応とし、主要なウェブブラウザで利用が可能であること。 ・スマートフォン、タブレット又は携帯電話といったモバイル端末では、過去3年以内に発売された主要な機種に対応し、また、運用期間中に販売される主要な機種において、追加費用なしで利用可能となるよう速やかに対応すること。	○		
2			ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	利用者、管理者双方にサービスを提供するネットワーク環境は、インターネット環境とすること。 インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。 受注者は発注者と協議により、発注者の通信環境に対応すること。	○		
3			データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	データセンターは国内にあるものとする。	○		
4				データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	日本国の法律が及び範囲にシステム環境並びにバックアップデータを配置すること。データのバックアップの要件は、以下のとおりとする。 ・本番環境搭載サーバと異なる環境にバックアップを取得すること。 ・1日1回/7世代取得すること。 ・搭載するテーマ数、搭載するレイヤ数に制限がないこと。	○		
5			想定利用人数	サービス利用人数	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	利用するクライアント数に制限がないこと(フリーライセンス)。	○	
6			管理者機能利用人数	管理者機能利用人数	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	利用する端末台数等の制限はないものとする。 ただし、システム管理者及びコンテンツ管理者が同時に5台端末程度アクセスすることを想定したサービスとすること。	○	
7	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。 ・ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・利用者にとって簡便で分かりやすい操作体系と機能の配置によりマニュアルを見なくても利用可能なインターフェースとすること。 ・統合型GISで作成・編集したデータを簡易な操作で速やかに公開型GISに反映できること。	利用する端末台数等の制限はないものとする。 ただし、システム管理者及びコンテンツ管理者が同時に5台端末程度アクセスすることを想定したサービスとすること。	○		
8				利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。	背景画像、キャラクターの配置等、利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい調整ができること。	○		
9			アクセシビリティ	「JIS X8341-3:2016」等のアクセシビリティに配慮していること。	「JIS X8341-3:2016」が規定する「レベルAA」に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること。		○	
10			多言語対応	指定する言語に対応すること。	次の言語に対応すること。 ・英語 ・中国語(簡体字/繁体字) ・韓国語 ・スペイン語		○	
11	データ移行	—	現行システム(サービス)で保有するデータを、新システム(サービス)の初期データとして移行(登録)できること。	現行システム(サービス)で保有するデータを、新システム(サービス)の初期データとして移行(登録)できること。対象データは、別紙3「システム搭載対象データ一覧」のとおりとする。	○			
12	サービス終了時・契約終了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報(発注者が提供を希望する情報)については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—	○			
13		保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	—	○			
14	地図の種類	—	システムで使用する背景地図の種類は指定のとおりとする。	システムで使用する背景地図の種類は別紙3「システム搭載対象データ一覧」のとおりとする。	○			
15	利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認(同意)を取ることができること。	—	○			
16		プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	—	○			
17	サービス利用者向け機能	トップページ等	利用者向けトップページが設置できること。	—	○			
18	お知らせ機能	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。	—	○			
19	利用者機能	操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	—	○			

20		スマートフォン対応	表示	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。	—	○		
21	管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・設定ができること。	—	○		
22			アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法(再認証も含む)にも対応すること。	—		○	
23			ロール設定	管理アカウントごとのロール設定ができること。	—	○		
24		統計機能	—	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	—	○		
25	地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	—	○		
26			凡例表示	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	—	○		
27			2画面表示	異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	—	○		
28				並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。	—	○		
29			主題情報	主題情報(施設情報や地図コンテンツ等)のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	—	○		
30				レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	—	○		
31			地物の属性表示	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。(事業者による対応でもよい。)	—	○		
32				地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	—	○		
33				属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。	—	○		
34				URLについてはハイパーリンクとして表示できること。	—	○		
35				画像ファイルについては、ダウンロードしなくても画面上に直接画像を表示できること。	—	○		
36				地図上の地物の属性一覧を表示できること。	—	○		
37				属性一覧画面から地物を検索できること。	—	○		
38				CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、利用者が出力項目等の設定が可能であること。	—		○	
39			地図の機能	拡大縮小	表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。	—	○	
40					マウス操作により地図を拡大・縮小できること。	—	○	
41				移動	地図を任意の方向に移動できること。	—	○	
42					マウス操作により地図を移動できること。	—	○	
43	現在地表示	表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。		—	○			
44	中心マーク表示	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。		—	○			
45	縮尺表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。		—	○			
46	索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。		—	○			
47		索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。		—	○			
48	URLによる共有	表示している地図の内容を表示できるURL、二次元コードを表示できること。		—	○			
49	住所・目標物検索	住所情報による地図検索ができること。		—	○			
50		住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「—」「ー(長音)」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。		—	○			
51		目標物による地図検索ができること。		—	○			
52	経緯度表示	地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。		—		○		
53	経緯度検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。		—		○		
54	ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。		—	○			
55	印刷	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。		—	○			
56		都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。		—	○			
57		コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	—	○				

